

四季
彩

福井市景観基本計画

織りなす風景都市

～ 住みたくなる心地よい景観をめざして ～

福井市

「あの突然はじめて町を目にした時の感動は 生涯忘れないだろう」

町は雪片を帯びた空気の中を、盆地の向こうにぼんやりと、樹木にこんもり
囲まれ、嵐雲にあたって反射した光の中に見えていた。

(中略)

そして今、見るのはただ黒っぽく広がる屋根の低い家、大きな寺院、切妻、
天守閣、竹藪、それに森であった。これが福井であった。

— W・E・グリフィス —

(「明治日本体験記」より)



写真は東山公園から望む福井平野と国見岳方面（「福井の景観再発見」より）

<W・E・グリフィス>

ニューブランズウィック市の大学で英語を教えていたグリフィスは、
福井藩で初めての海外留学生としてアメリカに渡った日下部太郎の熱心
な勉学態度を見て、日本人の節度・勤勉さに心を動かされました。

その後、志半ばで亡くなった太郎の友情に報いるために来日し、日本
の新しい教育に貢献しました。

上記の言葉は、明治4年に、福井藩からの招聘に応じて福井を初めて
訪れた際の印象として記されています。

住みたくなる“心地よい”景観をめざして



戦後の福井市は、戦災・震災等による壊滅的な打撃から都市機能の回復を図るため、戦災復興土地区画整理事業を初めとした都市基盤の整備に積極的に取り組んでまいりました。こうして整備された都市基盤は、機能的な都市環境をつくりあげてきた反面、都市の個性や潤い、美しさに対する配慮に乏しい憾がございました。

そこで、平成元年に、「フェニックスからリインカネーション」を基本理念とする『福井市都市景観基本計画・1989』を策定し、福井を魅力ある個性豊かな美しいまちとするため、すぐれた都市景観の創造と保全に努めてまいりました。

しかし、『景観法』の制定によって、これまでの地方公共団体が独自に行ってきた景観に対する取組みに法律的な位置付けが与えられ、また、市町村合併によって、地域固有の景観資源が新たに加わったことなどから、このたび、『福井市景観基本計画』として改訂することといたしました。

福井市には、四季の変化を感じることができる美しい自然があります。そこに先人たちが築き、育ててきた福井固有の歴史や文化、まちの賑わいなどが溶け込み、福井らしい景観をつくり出しています。

改訂基本計画では、「福井らしい景観を守る」、「世界に誇れる美しい福井を創る」、「市民とともに創り・育てる」の3つの基本理念の下、「市民が誇りをもっていつまでも住み続けたいと思うような、誰もが住んでみたいと思うような“心地よい”景観」を本市景観の将来像としております。

今後は、市民の皆様と行政の協働により、「福井らしい景観」を守り、創り、育みながら、将来像の実現をめざしてまいります。

最後に、本基本計画改訂にあたりまして、多大なご尽力をいただきました福井市都市景観審議会の委員の方々をはじめ、貴重なご意見を賜りました多くの皆様に心からお礼を申し上げます。

平成19年5月

福井市長

坂井 優

福井市景観基本計画 目次

第1章 今、なぜ景観か？ 1

- 1. 景観とは何か？ 2
- 2. 景観形成の重要性 3
- 3. これまでの景観行政の評価と課題 7
- 4. 景観形成の課題と対応策 18
- 5. 福井市景観基本計画の目的と役割 19

第2章 景観形成の目標 21

- 1. 福井らしい景観とは 22
- 2. 景観形成の基本理念 24
- 3. 景観形成の目標 26

第3章 福井らしさを形成する景観特性 27

- 1. 福井の風土と歴史 28
- 2. 福井の景観構造 45

第4章 景観形成の方針 53

- 1. 福井らしい景観を形成するための基本方針 55
- 2. ゾーン別景観形成の方針 83

第5章 景観形成重点地区 103

- 1. 景観形成重点地区の位置付け 104
- 2. 福井都心地区 105
- 3. 一乗谷地区 121
- 4. 越前水仙群生地区 129
- 5. 地域固有の景観を形成しているその他の地区 135

第6章 景観形成の進め方 139

- 1. 市民参画の推進 140
- 2. 景観関連法制度の活用 147
- 3. 景観形成プログラム 155

資料編 157

- 1. 委員名簿 158
- 2. 策定の経緯 159

